

キッドリターン



■浅草キッドの最新情報はここから。
http://www.asakuskidd.com/

データ復旧センター



■パソコン・レスキューが行なうデータ復旧サービス。http://www.pc-recovery.net/



HDDクラッシュからデータ復旧までを緊急レポート!

どうも、玉袋筋太郎です。今回は俺のPCに起きたHDDクラッシュ、そして、データ復旧までの道のりを緊急レポートします。

事件が起きたのは、1月30日。いつものように、パソコンを立ち上げようとしたところ、画面が真っ暗なまま、切り替わらない。ウーウー。さらに待つこと数十秒、浮かび上がった古い画面には、意味不明のPC用語が……。どうやら前回の起動時の設定がセーフモードで立ち上げるか選択しろ、と書いていたようだ。

前回は、普通に作業を終了したのに、この仕打ちには困ってしまった。さらに困ったのが、どの選択をしても、画面が元に戻ってしまふことだ。「まあ再起動すれば、治るだろう!」と、何回も再起動するが、状況は変わらず……。すこし焦る。

「やばい! コンピューターウイルスに感染したかも!」
PCに詳しい者に家に来てもらい、作業してもらったところ、思いがけない「豆業が返ってきた」。

「残念なんですけど、これはHDDを空っぽにするしか治す方法がありません!」

「……ってことは?」
「言いくいんですが、中に入っていたデータが全部、消えてしまうことになりまふ」
「エラー! メーカーに電話したのかまよ!」

「はい、そのオペレーターが、そう言ってるんです……」
なんてことだ! 過去3年間の全記録、家族との写真、仕事の原稿

メールが全部消える? 正直、我が子を失ってしまうかのような衝撃だった。

しかし絶対、泣き寝入りしたくない! そこでワラをも掴む気持ちで編集部のKくんにご相談。週刊アスキーなら解決策をもってるはずだ! 「頼む! 金に糸目はないから、絶対にデータを救出してくれ!」
「データ救出の専門業者ならなんとかなるかもしれませんが、でも金額は覚悟しておいたほうがいいかも」ということで、紹介してもらった業者の中から、パソコン・レスキューが行なう「素早い対応! 徹底的に低価格」が光りのサービス「データ復旧センター」に委託することに決定した。

初期調査費として9800円を現金で払い、パソコンごと郵送。あとは検査の結果を待つだけだ。ちなみに、重度の障害の場合には、80万円くらいの請求が来ることもあるようだ。PC本体より高いよ……。

というところ——「軽度の論理障害」ということで、約95パーセントのデータを救出できると判明! 地獄によろしく、光がさした!

その後、どのデータを救出するのかが、というリストをもらい、救出したいファイルを選択した。どうやらこれのさじ加減によって、金額が変わるようだ。

そして4日後、救出成功の知らせと請求金額の明細が送られてきた。▼救出データ量1GB 2万4000円

すべての費用を合計しても4万円弱、これは不幸中の幸いなのかも。そして、ようやくデータが入っているCD-ROM2枚とパソコンが我が家に戻ってきた。わが子! 再会すべく、電源オン! しかしそこには、壊れたときと同じ古なメッセージが! え? もしかして活ってないの? と一瞬、パニック(でも、いま考えてみれば、今回、依頼したのは、PCの修理ではなくデータ救出なのだから当然なんだけど)。

浅草キッド

タレント

Mebius MURAMASA
PC-MM1-H1W

シャープ

- CPU:オープン ●CPU/Clock:PIII 600MHz
- メモリー:512MB ●HDD:5.0GB
- ディスプレイ:16.1型CRT液晶

第24回



というわけで、ゴールデンウィークはゴスペルがスゴい! の巻です。七右衛門、仕事で行くわけなんだけど、読者募集! もしも貴族で偉大な音楽家になったら、気軽に声をかけて주세요ー! え? 誤解するって? だって嬉しいんだもんー。

消えてしまったデータを救い出す方法が知りたい!

あらためてメーカーに電話して、中のデータは消えてもいいから、治す方法を教えてもらおう。結局、システムCDから起動して、HDDをリカバリすることになった。PCと格闘すること1時間ほど、なんとかウィンドウズが起動した!

まずは、CD-ROMのデータを確認だ! 写真、文書ファイル、メールデータ、お気に入り……、すべてが故障前の状態に戻った。

失われた4万円、不安! 絶望! 希望……、疲れ果てた2週間。俺はこの日を境にデータの定期的なバックアップをしようと思ったのであった。

データも「ベソクリ」もバックアップが大事!!

担当…玉袋さん、今回は大変でしたね。

玉袋…いや、参ったよ。写真がなくなっただけで済んだら、カミさんが怒ってたなり。何でバックアップしてなかったの? って。PCのキーボードも触ったことがない素人なのにさ。(苦笑)

博士…でも壊れた原因って何なの? 玉袋…全然、心当たりがないんだよ。ソフトの削除も追加もしてないし。

担当…これはもう「運」としか言いようがないかもしれないです。でも、これでもう大丈夫ですね。

玉袋…いや、実は、別の問題が起きたんだよ。

担当…えーっ!?

玉袋…今回は、パソコンの中身じゃなくて、外側なんだ。

玉袋…実は、ノートPC用のパソコンケースのポケットに、お金を貯めてたんだよ。カミさんに内緒の。へ

ソクリイを。

博士…それがバレたの? 玉袋…そう。この前、ポケットの中を見たらか、妙な紙きれが入ってたんだよ。で、見たらカミさんの字で、「こういうお金があるんなら、ワタシに指輪を買って下さい」とって。

博士…お金のバックアップも大失敗だな(苦笑)。

担当…しかし今回は、データ救出がうまくいってよかったですね。

玉袋…うん。データ救出を依頼した会社は、セキュリティ面や対応もよかつたし。でも、ひとつだけ不思議なのが、やりとりのほとんどがメールだったんだよ。申し込みもサイトからだったし。俺の場合、セカンドマシンがあるからそれでもいいけど、1台しかPCをもっていない人の場合はどうするんだらう?

担当…確かに(苦笑)。おそろく電話やファクスでの連絡だとも思いますが、博士…バックアップ以外で、こういう事態を防ぐことってできないの? 担当…被害を最小限にとどめるという意味では、HDD内のデータを保存する場所を変えるのも効果的です。

博士…どういうこと? 担当…「ワード」などでファイルを保存する場合、通常、データはシステムが入っているCドライブへ保存されますが、それをDドライブに変更するんです。これで、システムが入っているCドライブがおかしくなっても、Dドライブなら助かる可能性が高いんです。

博士…HDDがクラッシュしたときの対処法はどうすればいいの? 担当…状況によるので一概に言えませんが、知識のない人がソフトを使って救出しようとするのは危険かも

しれないですね。簡単に治るものができるようになる場合もあります。おかしいと思ったら、触らないでまず、メーカーに問い合わせることがいちばんです。

博士…でも俺、この前、間違えてゴミ箱の中に入れたデータを削除しちゃったんだけど、その時は、このソースネクストの「救出ファイル復元」で救出できたよ。

担当…その程度なら、ソフトで救出できることもありますね。

玉袋…今回は、あきらめないでアスキーの編集部に相談してよかったよ。博士…じゃあ、俺も聞きたいんだけど、5月にK-1を観るためにラスベガスに行くんだけど、そこでネットとかメールがしたいんだよな。今まで、海外で通信するのは無理だと思って諦めてたんだけど、なんとかならない?

玉袋…何か新規で通信機器を買わなきゃダメなのかな。

博士…ベガスのホテルは、そのへんの施設は整っていると思うんだけど、担当…そうですね。ホテルによっては、LANケーブルをつなげるだけで大丈夫かもしれません。

博士…ホント? 担当…まず、ホテルの設備をホームページで確認しましょう。あとは、プロバイダーのサイトから、海外での接続設定を確認しておくといいと思います。ダイヤルアップで接続できることが多いと思いますけど。

博士…じゃあ、ラスベガスから俺たちのサイトの更新とかもできるんだ。

担当…もちろんです。

博士…やる気が出てきた! ゴールデンウィークは、現地からK-1の結果速報を発信するぞ!!

「救出 ファイル復元」



●発売はソースネクスト。問い合わせ先は
TEL: 0120-950-000
URL: <http://www.sourcenext.com/>



●削除してしまったファイルを一覧表示して、ボタンひとつでコンテンツに復元。

